

## 2 ICTを活用した教育の推進

科学技術の発展や人工知能の普及に伴い社会や生活が急変し、将来の予測が難しい社会においては、情報および情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくための能力を養うことが求められている。このため、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、教科横断的に育成していくとともに、ICTを効果的に活用した学習活動の充実を図りながら、各教科等における「主体的・対話的で深い学び」につなげていくことが重要である。

### 情報活用能力の育成

◇世の中のさまざまな事象に対して、情報および情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりできるよう、情報活用能力を育むよう努める。

#### 「情報活用能力を構成する資質・能力」

(知識・技能)

情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。

(思考力・判断力・表現力等)

様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

(学びに向かう力・人間性等)

報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること。

#### 1人1台端末を活用した学びの充実

◇児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどに慣れ親しみ、情報モラルを身に付けるとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動の充実を図る。

・1人1台端末の活用によって、個別最適な学びや協働的な学びが促進されることに留意しながら授業づくりを進めていく。

◇児童生徒の教育機会の保障

・感染症の発生等、緊急時における児童生徒の学びの保障のため、また、不登校や長期療養中の児童生徒の学習支援が図られるよう、ICTを活用したオンライン学習の環境整備と支援体制の構築に努める。

#### 教員のICT活用指導力の向上

◇教育活動に1人1台端末や情報通信ネットワークを効果的に活用できるよう、校内研修等を通して、教員一人一人が情報教育に対する理解を深め、資質の向上に努める。

・ICT等の効果的で適切な活用方法や、プログラミングを体験させながら論理的思考力を育成する方法等の研究・研修を推進する。

#### プログラミング教育の推進

◇児童生徒が、プログラミングに関わる体験的な活動を行うことを通して、その働きのよさ等に気付くようにするとともに論理的思考力を高め、情報技術に関する興味・関心や、学習意欲の向上が図れるようにする。

##### 「プログラミング教育のねらい」(小学校)

- ・プログラミング的思考を育む。
- ・プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータを初めとする情報技術によって支えられていることなどに気付く。
- ・身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を上手に活用して、よい社会を築いていこうとする態度などを育む。 等

#### ■関連資料

- 「教育の情報化に関する手引き 一追補版一」 令和2年6月 文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/mext\\_00117.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html)
- 「小学校プログラミング教育の手引き(第三版)」令和2年2月 文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/content/20200218-mxt\\_jogai02-100003171\\_002.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200218-mxt_jogai02-100003171_002.pdf)

教育の情報化



プログラミング教育

